

### 【防災に関する要望事項】

境川洪水対策は、2018年度の市政懇談会に忠生地区からの要望事項として出されました。町田市への回答は、「忠生地区町内会・自治会連合会 市政懇談会」の議事録にあります。

忠生地区町内会・自治会連合会 市政懇談会

〔日時〕 2018年10月29日（月）18:30～20:30

〔出席者〕 石阪市長、防災安全部長 篠崎、忠生地区町内会・自治会連合会会長等

### 【要望】 境川洪水対策

最近境川では豪雨のたびに避難情報が発せられています。境川の50mm未満対応区間の整備の促進、特に神奈川県担当部分の整備についての、同県との協議の加速をお願いします。特に両国橋～根岸橋間の護岸川底の掘下げ等の整備と山根橋に水位監視モニターの設置をお願いします。また共和橋～宮前橋間の土嚢設置をお願いします。洪水ハザードマップを改訂し、水深区分をより細分化し、効率的な非難を実行できるようにお願いします。また、境川氾濫による浸水時の救助のために必要となる浮き輪やボートなどの配備を進めていただきたい。

【回答】 下水道部長 境川の整備要望について、10月10日に神奈川県厚木土木事務所津久井治水センターに赴き、直接要望事項を伝えてまいりました。まず、両国橋から根岸橋区間の護岸川底の掘下げ等の整備につきましては、境川は、全体的におおむね30mmの降雨に対応するよう流量調整をしている状況です。一部を掘り下げると、下流域への影響が出ることから、下流の流下能力が確保できるまでは、掘下げは困難であるとの回答でした。しかし、土砂等の堆積により、30mm断面より小さくなり、流下能力に支障を来している箇所については、随時、しゅんせつを行い、断面確保に努めているとのことでした。次に、山根橋に水位監視モニターの設置につきましては、河川の増水を水位計等で監視し、危険を早期に予測するには、山根橋よりも上流に設置されている水位計を確認することが有効であるとのことでした。忠生地区より上流にある境川の水位計は、直近では、「高橋（たかばし）」にあります。その上流ですと、小山地区の「昭和橋」、相原地区の「風戸橋」に設置してあります。また、カメラ画像で境川の状況を確認できるのが、高橋付近、寿橋付近、風戸橋付近になります。いずれも、神奈川県のホームページ、「神奈川県雨量水位情報」で見ることができます。忠生地区ですと、上流の昭和橋、風戸橋の水位を確認し、忠生地区の水位が上昇する前に避難を考えていただくのが、有効であるとのことでした。次に、共和橋から宮前橋区間の土嚢設置につきましては、境川は、全体的におおむね30mmの流下能力で調整しているため、新たにかさ上げすることは考えていないとのことでしたが、土嚢設置要望箇所の共和橋から宮前橋区間につきましては、現在用地買収を進めているとのことで、用地買収が完了したところから順次、護岸整備を行っていくとのことでした。市としては、今年1月、相模

原市とともに、神奈川県庁に赴き、副知事に整備要請を行っております。今後も、引き続き、河川管理者に対し、町田市民が安心して生活できるよう河川整備の要請を行ってまいります。

【回答】防災安全部長

町田市の洪水ハザードマップは、東京都が公表した浸水予想区域をもとに作成しております。2018年度に町田市内を流れる境川及び鶴見川の新たな浸水予想区域図が公表されたことを受け、町田市では2019年度に配布する新たな洪水ハザードマップの作成に向け準備をしているところです。公開された新しい浸水想定区域図は、浸水深が今までの4段階表示から6段階表示となっており、従来は「2m以上」となっていた表示については、「2.0mから3.0m未満」、「3.0mから5.0m未満」、「5.0mから10m未満」の3段階となり、より細かく表示されていることから、新たな洪水ハザードマップについてもこれらを反映して作成いたしますので、従来よりも詳しくお知らせできるものと考えております。境川増水による浸水時の救助のための資機材については、有事の際、救助活動を行う町田消防署に3艇、町田市消防団に3艇の救命ボートを初めとする水難救助資機材がそれぞれ配置されており、これらを活用した救助を想定しております。その他、多摩地区には、東京消防庁が水難救助活動の専門部隊や急流救助の専門部隊を計5隊配置しており、市外からも応援に駆けつけ、ヘリコプターなどと連携した救助活動を展開することです。このため、浸水区域の救助活動については、消防署、消防団等によるものを想定しており、救命ボート等の水難救助資機材については、自主防災組織に対しての配置は予定にございません。

(司会) 地区連合会長 途中で済みません。ハザードマップの配付はどれぐらいの時期になりそうですか。

防災安全部長 つい先ごろ東京都から紙が来まして、今後、電子データの提供を受けますので、明確にいつということは申し上げにくいのですが、恐らく来年度の後半には皆様にお配りできるように準備したいと考えております。また詳しく決まりましたら地域の皆様にお知らせすることになると思いますので、そのときにはよろしく願います。

---